

News! the 世界遺産

出版委員会が発足しました

武家の古都・鎌倉マップ作成委員会は、事業部会と広報部会より選出された委員により、“武家の古都・鎌倉マップ”を作成して、10万余部を出版し、改訂版を作成しましたが、次回の3訂版を作成すれば、当面基本的な改訂は必要ないので、発展的に解消させ、出版委員会を発足させて以下の事業を行うことになりました。皆さんも興味のある分野を見つけてどうぞご参加ください。

1 “武家の古都・鎌倉マップ”3訂版の作成

シンボルマークの掲載や角川学芸出版の広告掲載等と外国語版（英語・仏語など）の作成。

2 （仮称）「鎌倉の世界遺産ガイドブック」の作成

持ち歩きのできる小冊子に、地図付きで世界遺産登録

の意義や遺産内容を写真入で紹介し、日本語・英語・仏語版などを作る。

3 （仮称）「鎌倉の世界遺産をつなぐ市民の動き」の作成

鎌倉の世界遺産登録の背景には、様々な市民の活動があることが認識できる資料集を作成し、世界遺産登録への理解を深める。主な内容としては、ウォーナー博士の鎌倉を空襲から守る業績の顕彰による建碑、今年50周年を迎える全国に先駆けて行われた「平和都市宣言」の朝比奈宗源などの世界連邦運動、御谷騒動による「古都保存法」制定と古都鎌倉・逗子の歴史遺産保全運動、世界遺産登録への市民の活動等を予定。

「武家の古都・鎌倉」を映像でPR！ JCN鎌倉の協力により、PR用DVDを制作

これまで本推進協議会では、広く一般の方々に、鎌倉の世界遺産登録に関する取り組みをお知らせするため、「武家の古都・鎌倉ニュース」や「武家の古都・鎌倉マップ」を配布してきましたが、新たな広報啓発活動の一環として、この度、PR用のビデオ、DVDを制作することになりました。

このDVDは、本推進協議会の登録推進事業部会員 斎藤政丈さんが撮り溜めた候補遺産の数々とJCN鎌倉

がこれまでに制作したテレビ番組「鎌倉永劫（ようごう）」とを再編集したもので、「武家の古都・鎌倉」の考え方や候補遺産を紹介する内容となっています。

今後は、本推進協議会や参加団体が開催する様々なイベント会場での上映や、希望者への貸出なども行っていく予定です。

「武家の古都・鎌倉ニュース」や「武家の古都・鎌倉マップ」と合わせた活用等が期待されます。

「古都鎌倉の世界遺産登録」ってなに？

伊豆で挙兵した源頼朝は、石橋山の合戦に敗れ安房国（房総半島の先端部）に逃れました。『吾妻鏡』によると、頼朝がいた安房の在所は要害の地でなく、祖先伝来の地でもないため、鎌倉へ入るよう勧められたと記されています。山に囲まれた要害は鎌倉以外にもあることから、祖先伝来の地であったことが、頼朝が鎌倉を選んだ大きな要因であったと考えられます。

鎌倉は太平洋と東京湾を結ぶ海上交通の要衝であり、11世紀には頼朝より5代前の頼義が館を構え由比に八幡宮（現在の元八幡）を建立していました。頼朝の父・源義朝が鶴沼付近に侵攻した事件について、天養2年（1145）に書かれた一連の文書群には、義朝が「鎌倉之楯（館）」

第6回 源頼朝の鎌倉入りと寿福寺

を拠点に勢力を拡大している様子がみえ、別の記録には頼朝の兄・義平が「鎌倉悪源太」と称したとあります。『吾妻鏡』では、義朝の館が亀ヶ谷にあったとされ、頼朝の没後、妻・政子がその跡地に建立したのが寿福寺です。

頼朝は、父・義朝の本拠地を引き継ぎ、頼義が建立した八幡宮を祀ることで、清和源氏嫡流家の当主であることをアピールし、東国に安定した基盤を持っていることを内外に示そうとしたのです。

このように鎌倉は、祖先から受け継がれた由緒を持つ源氏の拠点であったことから、頼朝の本拠地とされ、武家政権発祥の地になったと考えられます。寿福寺は、鎌倉と源氏のつながりを今に伝えているのです。